

Press Release

ハーマンインターナショナル株式会社
2026 年 9 月 8 日

<報道関係各位>

JBL 創立 80 周年の音響技術の集大成 Project EVEREST の系譜を受け継ぐ JBL フラッグシップモデル デュアル 380mm 径 3.5 ウェイ・フロアスタンディング型スピーカー 「Summit Everest」登場

ハーマンインターナショナル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:桑原拓磨)は、アメリカ カリフォルニア発祥の世界最大級のオーディオブランド JBL より、創立 80 周年の集大成として開発されたブランド最高峰のフラッグシップモデル、デュアル 380 mm 径 3.5 ウェイ・フロアスタンディング型スピーカー「Summit EVEREST(サミット エベレスト)」を 2026 年秋より発売いたします。



本モデルは、JBL Summit Series のフラッグシップモデルであり、40 年以上にわたり受け継がれてきた Project EVEREST 開発の歴史と、創立 80 周年を迎えた JBL の音響技術のすべてを投入したリファレンススピーカーです。1985 年に初代 Project EVEREST DD55000 が登場して以来、JBL は常にその時代の最高峰モデルを通じて理想の音楽再生を追求してきました。Summit EVEREST は、その系譜を継承しながら、現代の最先端技術によって新たな到達点を示すモデルとして誕生しました。

中高域には、新たに開発されたシステムを採用しています。特許取得済みの 2 インチ(50mm)デュアルダイアフラム/デュアルモーター構造の D2820 コンプレッションドライバーを 3 基搭載し、専用設計の 3-into-1 マニフォールドによって統合。さらに大型の SonoGlass® 製 HDI(High-Definition Imaging)ホーンと組み合わせることで、クロスオーバー帯域から可聴帯域を超える高域まで、優れた指向性制御と圧倒的な情報量、そして極めて高い解像度を実現しています。

低域には、JBL 独自の HC4(Hybrid Carbon Cellulose Composite)コーンを採用した 250mm 径ミッドバスユニット「JMW250SC」を 2 基、380mm 径ウーファー「JW380SC」を 2 基搭載しています。カーボンファイバーを配合したピュアパルプ製コーン紙 2 枚の間にクローズドセルフォームコアを組み合わせた 3 層構造の HC4 コーンにより、高剛性と軽量性を高次元で両立。さらに Differential Drive 構造やネオジム磁気回路、デュアルボイスコイルを組み合わせることで、高出力時においても優れたリニアリティと低歪再生を実現しています。

Press Release

ネットワーク部には、高度な MultiCap™ クロスオーバーネットワークを採用。複数の小容量コンデンサーを並列構成することで等価直列抵抗 (ESR) を低減し、エネルギーロスを最小限に抑制します。また、シングルワイヤ接続に加え、バイワイヤ／バイアンプ、さらにはトライワイヤ／トライアンプ接続にも対応し、システム構築の自由度を高めています。

そして筐体には、内部オフセット構造と多重補強、ダンピング処理を施した高剛性キャビネットを採用。さらに JBL | IsoAcoustics® カスタムアイソレーションフットが不要振動を効果的に抑制することで、広大なサウンドステージと揺るぎない音像定位を実現します。JBL が 80 年にわたり培ってきたエンジニアリングとクラフトマンシップを結晶化した Summit EVEREST は、音楽再生の新たな頂を示すフラッグシップモデルです。

製品のポイント

- JBL 創立 80 周年の音響技術を結集した同ブランドのフラッグシップモデル
- 4 世代・40 年以上にわたり進化を続ける Project EVEREST シリーズ最新作
- D2820 ドライバー 3 基と新開発 3-into-1 マニフォールド、大型 HDI™ ホーンを採用
- デュアル 250mm 径ミッドバス「JMW250SC」により高い応答性と低歪再生を実現
- デュアル 380mm 径ウーファー「JW380SC」が圧倒的な低域エネルギーとスケール感を実現
- ミッドバス、ウーファーユニットの振動板には HC4 コンポジットコーン採用、高剛性と低歪を両立
- MultiCap™ クロスオーバーネットワークによる高純度な信号伝送
- トライワイヤリング／トライアンプ接続に対応した高い拡張性
- JBL | IsoAcoustics® アイソレーションフットにより不要振動を低減

製品外観



Press Release

ユニット

[D2820 × 3 + 3-into-1 マニフォールド]

環状リング型 Teonex®ダイアフラムを採用した 2 基のコンプレッションドライバーを向かい合わせに配置し、一体化させた独自構造を持つ 2 インチ (50mm) コンプレッションドライバー。3 基の D2820 D2 ドライバーをバランスの取れた対称配置で統合する独自の 3-into-1 マニフォールドと組み合わせることで、高い出力音圧と効率を維持しながら、さらなる低歪み化を実現します。大型 Sonoglass®製 HDI™ホーンと組み合わせることで、高域再生システムを構成しています。



[JMW250SC]

3 インチデュアルボイスコイルによる Differential Drive 構造を採用した 10 インチ (250mm) ミッドバスドライバー。振動板には、カーボンファイバーを配合したピュアパルプ製コーン紙 2 枚の間にクローズドセルフォームコアを組み合わせた、3 層構造の HC4 コーンを採用しています。デュアル・ネオジウムマグネット、デュアルインバーテッド・ダンパー、ダイキャストアルミニウムフレーム、アコーディオンクロスエッジの組み合わせにより、高出力、低歪み、優れた耐入力性能を実現しています。



[JW380SC]

4 インチデュアルボイスコイルによる Differential Drive 構造と、内外に配置したマルチプル・ネオジウムマグネットによる強力な磁気回路を採用した 15 インチ (380mm) ウーファー。モーター前後に配置したインバーテッド・デュアル・スパイダーにより振動系を精密に制御し、大振幅時においても優れた安定性と低歪み性能、高い耐入力性能を実現しています。Summit Series のフラッグシップモデルを支えるために開発された、新世代の 15 インチウーファーです。



Press Release

主な仕様

製品名	Summit Everest(サミット エベレスト)
タイプ	380 mm径 × 2 / 3.5 ウェイ・フロアスタンディング型スピーカー
構成	50 mm径 × 2 D2 コンプレッションドライバー (D2820) × 3 + Sonoglass®製 HDI™ホーン 250 mm径ミッドバス(JMW250SC) × 2 380 mm径ウーファー(JW380SC) × 2
インピーダンス	4 Ω
感度(2.83V/1m)	96dB
周波数特性(−6dB)	20Hz～23kHz
クロスオーバー周波数	270 / 550 / 850Hz
外形寸法(W×H×D)	992 × 1,443 × 695mm
本体質量	237kg
標準価格(税込)	¥ 12,100,000/本
発売日	2026 年秋

※仕様や価格は変更となる場合があります。

<JBL について>

美しい外観とプロ・サウンドを両立した家庭用スピーカーの開発を目指して設立。以来、世界中のあらゆる音楽が関わるシーンで、プロアマ問わず信頼され、愛用され続けている、世界最大級のオーディオメーカーです。家庭用超高級スピーカーからイヤホン、ヘッドホン、ホームシアターを展開。また、トヨタを始めとする車載純正オーディオ、マルチメディア用などの民生機器から、世界中の映画館、スタジアム、コンサートホール、そして放送局やレコーディングスタジオなどが対象となる業務用機器を投入しています。JBL は世界中の競技場で音響システムとして採用されており、様々な世界的なスポーツイベントでも採用されています。

<ハーマンインターナショナル(米国本社/Harman International Industries, Incorporated)について>

ハーマンインターナショナルは、プレミアム・オーディオ、ビジュアル、コネクテッド・カーと、それらを統合したソリューションを、自動車、消費者、プロフェッショナルの市場に向けて、設計・製造・販売しています。弊社の AKG®, ARCAM、Harman Kardon®, Infinity®, JBL®, Lexicon®, Mark Levinson®, Revel®を含む主要ブランドは、オーディオ愛好家やアーティスト、イベント／コンサート会場などで多く利用され、称賛を受けています。また今日では、弊社のオーディオやインフォテインメント・システムが装備された自動車世界で 5,000 万台以上走っており、弊社のソフトウェアサービスは、オフィスや家庭、車やモバイルなどあらゆるプラットフォームにおいて、何十億台ものモバイル端末やシステムが安全な接続や統合を行えるよう、支えています。ハーマンインターナショナルは全世界に約 30,000 名の社員が在籍しています。